

金澤市
第一課
局長
福地
寺井
九月

六七

受附 〇〇八五〇七

丁一〇四九

電

〇〇三二八

〇〇

〇〇

聯合總隊

津・南西方回線降下・三浦艦隊降下

軍機

機密第〇六一二一四番電

二分ノ二三

機一機動隊隊長

機密二機ヲ其新機若干機ヲ遣送シ得ル情況ニ於テハ急遽飛行機
隊ノ編組練ヲ再興ノ要アル所一タウイタウイ一警戒線給格機ノ機ニ
テハ陸上基地未定且敵潜水艦ニ對スル防護ヨリ所屬ノ訓練到底不能
ニシテ訓練係下ヲ免レサルニ付避隊所屬訓練隊ヲ「キマラス」ニ
進出セシムル内要ナリ

海軍省 〇六・四六二二 陸軍省 A(七八五五・一五一七一)〇四(三二)海

32

南一帯ヲラスレ方面ニ於ケル甚速ノ増減並ニ訓練海面ト風向ノ關係
 ニ依リテハ同時ニ且互方面ヲモ利用スルヲ得ハ訓練上有利ト認メア
 リ又並地訓練ニ當リテハ二週時間待機程度ニ緩和スルコト必要ト思
 考スルトコロ貴院承知致度。

海軍省
 海軍大臣
 官印

海

第...
 十...
 課...

海

電

局長
司令
寺井
第...
第...
第...

親展

第六七
陸軍第三〇五〇

第二二二五〇

陸軍第三〇五〇

特...

第十八...

第十六...

...

陸軍機

...

...

陸上機動第二旅団情況ニ依リ第一旅団ハ八日東京運送船送ノ六〇〇名ヲ除
ク一及第二旅団運送船送ニ乗リ旅団本部ヲ率テ東京ニテ取ルハク運送ニ「マノタワリ
」ハ陸軍機動第一「マノタワリ」ハ「ヒアタ」ヨリハ東京ノ運送船送ニ乗リ
タリト云フ。

陸軍第八師団 第二八(一八四一〇五)方ニケル海軍

734

人事

大正 陸軍 第一七三〇 第七九 一一一〇 陸〇四三〇〇 作

● 内閣府地方官事務官

● 陸軍省軍務局・軍務部

陸軍省第七一三二一番

陸軍省軍務局

陸軍省軍務局地方官事務官令作第一八號附圖二版之作戦分級編纂等事申す事
(一) 陸軍省軍務局地方官事務官令作第一八號附圖二版之作戦分級編纂等事申す事
(二) 陸軍省軍務局地方官事務官令作第一八號附圖二版之作戦分級編纂等事申す事
(三) 陸軍省軍務局地方官事務官令作第一八號附圖二版之作戦分級編纂等事申す事
(四) 陸軍省軍務局地方官事務官令作第一八號附圖二版之作戦分級編纂等事申す事

海軍 第八一六 陸軍 第一八三六七、五七〇二二

435



局長

課長

局長

課長

三男

赤坂

下田

五五七

一七五五
三三〇〇
三四〇〇

海(〇三六五)

報 着
15057
F P

陸軍機

機密要項是三五五番室

齊集東方回艦隊各謀長也

我軍力能積極的展露其顯示多敵，當方面討其
攻勢力途巡警部也其上下共三兩方在作其方面齊集其
力差別目的達于今次戰務，戰事不成止之速之不利明之也
逐隊逐隊程度及之學スル也日音戰作其實施以常事
地研是上貴意通報之傳度

五〇四〇

五〇四〇

五〇四〇

海軍

局長

東洋

司員

王要

陸軍

陸軍

作

五、六、八
作

〇〇〇
〇〇〇
〇〇〇
〇〇〇

没
(日三六五)

着 5/58
235F

報

陸軍機

機 密 第 〇 七 三 〇 三 一 番 電

外 務 省 謀 略 課

外 機 密 第 〇 七 三 〇 三 一 番 電

外 機 密 第 〇 七 三 〇 三 一 番 電

外 機 密 第 〇 七 三 〇 三 一 番 電

外 機 密

三三〇一三四A 九五四〇K

海 軍

陸軍省機

局長

課長

司員

事務

一九四一年八月
試
〇四三〇
〇五六五
〇五六五
〇五六五
作

着 聯合艦隊司令部 總長

海軍省機

發 聯合艦隊司令部 總長

トビアリ 攻防狀如帝國興亡、神州の源

トハ必スシモ 認不慮ヲヤルモ之が喪失ハ

果後、味方作戰上重大トシ不利ヲ

招来スルハ 疑問、余地ナキ處 最高

(5/8/43) A A (1/2/25 KC) 21/08

海軍

人

入 陸軍第三〇〇五 陸軍第三三五〇 陸軍第三〇〇五 陸軍第三〇〇五

陸軍第三〇〇五

陸軍第三〇〇五

陸軍第三〇〇五

陸軍第三〇〇五

陸軍第三〇〇五

陸軍第三〇〇五

陸軍第三〇〇五

陸軍第三〇〇五

陸軍第三〇〇五

陸軍第三〇〇五

陸軍第三〇〇五

陸軍第三〇〇五

海軍



第十信課

440

至急
展覧

展覧 〇九二一〇

展覧 〇九三〇

展覧 〇九三六

作

● 北東方面露隊戸

● 一水取入

沈下

展覧 〇八一九三三番號

五分ノ三三

● 露軍直轄隊歩隊長

露軍直轄隊歩隊長
露軍直轄隊歩隊長トシテ流行機若ハ潜水艦ニ依リ隱密偵察ヲ精進ニ實施シ
得ニ露艦ニ依リ暗殺隊況ヲ明ニスルヲ要ス但シ熱帯ノ實情ニ應ズル
ニ露艦隊長トシテ潜水艦ヲ偵察ハ困難性小ナリ
露軍直轄隊歩隊長ノ困難

露軍直轄隊歩隊長ニ暗殺隊況ニ應ヒ南方偵察ヲ可トスル

通五九四一、五九四二

日三八(四三五五)大露放

海

軍

赤

等

第
十
三
號

442

作

昭和〇〇八五〇六

丁〇九四〇 〇四二八二

第一航空隊司令部

● 昭和九年六月十一日

● 昭和九年六月十一日

昭和九年六月十一日

第一航空隊司令部

昭和九年六月十一日

六月十一日

六月十一日

六月十一日

六月十一日

第五九五〇

海軍

海

軍

第五九五〇

局長

得長
馬長
福地
重
原
香
田
田
田
田

六九 受信一五二五 詳一七二二 可四四二二 特
備

東通
三十一通

三十一通

機密 茅の丸一〇一五 香電

發 茅四角遺艦隊長官

宛 軍令部 部長 行司司令長官

通報 海軍大臣

一、七、ア、ク、島、地、勢、地、質、等、唯、々、考、察、ス、ル、ニ
敵、ニ、對、シ、地、步、ヲ、占、ム、シ、ン、カ、蒙、北、方、面、ニ、準
備、シ、タル、諸、航、空、基、地、ハ、悉、ク、制、壓、ス、ル、ノ、ミ、ナ

海軍

447

ラズ南洋方面ノ諸基地ニ其ノ機能ヲ發揮シ得ツ
 ルニ立至リ成ル作戦著シク困難トナレシメテ外南洋東半
 島其ノ確保ヲ期待シ得ルニ至レバ必ナリ
 二現状、如ク航空部隊ノ小公及少数艦艇ノ生策的行
 動ハ勃果少ク危険大ナリ
 先ツ航空部隊ノ大勢力ヲ以テ一撃ニ所任艦艇
 ノ殲滅及陸上部隊ノ攻撃ヲ敢行共ノ機ニ未
 シテ有力艦艇ニ完全分直衛飛行機ヲ附シ増援
 部隊ヲ速ニ投入スル下絶対ニ必要ナリ
 三、日ノ如ク、確保ハ南方資源防禦上絶対ニ要ニシテ
 且敵ノ有力部隊各個撃破ノ好機ナリト
 認メ重キテ進言ス。

第十信 隊

海軍

448

六九
受信
開始

一三五〇〇

丁一三四〇

電〇四三三五

人令

事副

● 十通信隊

● 總 長・十六隊隊長

陸軍

機務〇九一一三七番電

● 南西方面艦隊參謀長

● 大連海軍第一直達艦隊參謀長

● 通報 人事局長

北上積運運轉及佐世保回航ノ爲臨時艦長職務執行ヲ命ゼラルル内意ナ
ル處貴船ニ於ケル適任者ヲ推薦サレ度。

通六一九三

留A(一八四一〇四)カニケ谷

海

軍

第...
...

449

六九 受信一六五〇〇
開始一六三〇〇

歸丁一六五〇 電〇四四〇二

親展

五

通

東

通・一一潜戦

機密第〇九一四一二番電

發 G F 參謀長

宛 第六艦隊參謀長

通報 大本營海軍參謀部第一部長

八號兵器二型ヲ使用スル特殊作戦(爾今華作戦ト假稱)ハ伊號第五十
四潜水艦伊號第五十五潜水艦ヲ以テ八月中旬實施ノ内案ナルヲ以テ七
月中旬内地出撃ヲ目途トシ諸準備及訓練ヲ進メラレ度。

通六二六〇 呂四A(B) G F P

海軍

450

作

人事

五、六、一〇

日 日 日
六 五 〇
〇 四 〇
〇 〇 〇

東京通受

作

(四六二八)

作

坑

SPGB
IKDF
F EB
F

機 機 機 機 機 機 機 機 機 機

第一三六號

二、偵察

三、強化

四、備へ

六五八

ルA

海軍

第十信課

通六五七三

留A(五五八五)五通海軍

古()

發 參謀長

宛 六一航空戦隊司令官

真 務 首席參謀各參謀勤務ニ耐ヘザル場合要スレバ高井大尉ヲシテ參謀
事務ヲ執ラシメラレ度

高井大尉ハ明日歸隊セシム。

761fg
V 陽

機密第〇九二二三二番電

緊急

六一六〇

受信開始
一〇〇
〇九一
四二三
五〇〇

電
三二一

人事

● ベリリニュー基地
● 人事局・聯合艦隊

● 第一航空艦隊

福 13
三
五
年 十 月 號

452

Handwritten notes and signatures in the top right corner.

六一〇
受
始
〇〇六〇七
丁
〇八〇〇
電
〇四六四
海
部

十一
一
機
電

大
本
管
海
軍
部
・
聯
合
艦
隊
下

機
電
一
〇
〇
〇
二
〇
番
電

第六艦隊司令長官旅艦

聯合艦隊後衛隊〇九一四一二番電

第十一潜水隊隊司令官ハ伊號第五十四潜水艦伊號第五十五潜水艦ヲ以テ七月中旬内地發ノ豫定ヲ以テ準備及訓練ヲ行フベシ

海軍

海軍部 第一五五八五號

海軍

454



第一〇一五五 第一〇一五〇 第一〇一四五 第一〇一四七 第一〇一四五

● 五戰隊A・一六戰隊A

● 大本營海軍部・聯合艦隊司令部・聯合艦隊各司令部

機密第一〇〇七五八番電

發 指 揮 官

機動部隊指揮官 第一號

第一艦隊（大和武藏）第二水雷戰隊（能代 島風 沖波）予備部隊

二編入同隊（聯合艦隊司令部第一二七號ノ作戰ニ從事スベシ）

海軍省 第一〇一五五〇〇〇（九五四〇）（二二一）

海 軍

第 十 七 號

一〇 昭和二十一年 四月九日 陸軍省

● 大 陸 軍 省 令 陸 令 第 一 〇 一 一 一 号

● 南洋方面防務整理ニ関スルニ付

機密第一〇一一一〇番電

陸 軍 省 令 陸 令 第 一 〇 一 一 一 号

南洋方面防務整理ニ関スルニ付

十三日

陸軍省令 第一〇一一一〇番電 南洋方面防務整理ニ関スルニ付

自第二輪送馬船 慶島 津原 第三十六番船 第二十七番船
送給

何船 給馬船 第三十六番丸

手取送馬船給馬船及給送馬船指標官船船二兩指標官所定船ハ一
ハ手取ノ一ニ給合スルニ據一船隊第二本番船隊ハ「モニマ」ト
カ「モニマ」ト「マノタ」ト指標者ノ決定
馬第一船隊「モニマ」ハ泊地入港時第五船隊司令官ハ別令官所定ニ
依り給送馬一隻ヲ派遣本隊ノ船隊ニ送ルニムルシ。

第廿五課

海

甲

458

六一〇 受領一七三五
開始三〇〇〇
一〇四九一三 報

● 大 陸 軍 一 部

● 北東方面艦隊司令部・中部太平洋方面艦隊司令部・一航空艦隊司令部・海軍部

機密第一〇一五三五番電

● 日 軍 参 謀 長

確黄島南島島雨晴區ノ東方飛行哨戒ヲ緊急實施ノ要アル情勢ト認ムル
處第一航空艦隊哨戒兵力ヲ未ダ配備シ得ザル實情ナルヲ以テ然ルベク
中央機雷アリ座追テ第一航空艦隊兵力配備南方案敵配備ノ趨勢ト小笠
原諸島(南島島ヲ含ム)補給輸送ノ責務トニ鑑ミ別ニ根本問題トシテ
敵方面作戦擔任地境ヲ検討要座

通入〇〇六 四三()

海 軍

459

人事

六一一 受備〇七五〇五 丁〇九一〇 電〇五一七九 作

第一 股隊

大海軍一部・聯合艦隊口・南西方面部隊口・三一連
一機動艦隊口・濠北部隊各口・二十八機隊

機密第一〇一六二〇番電 二分ノ二

第十六戰隊司令官

發 第十六戰隊司令官 勢二ハ鐵四南連艦隊ヨリ通報サレ度
艦隊先威、輝、勢各司令部へ輝 勢二ハ鐵四南連艦隊ヨリ通報サレ度
對空射撃ヲ著シク阻害セザル範圍ニ於テ各艦ニ大發搭載施設ヲ
行フヘ工作艦ノ援助ヲ要シ運搬スルノ外ナシト認ム 尙小艇ナラバ時
ニ施設スルコトナクシテ搭載可能ナルモ當方面ニ於テハ之ヲ得ラレザ
ル狀況ナリ

三艦隊へ大井 北上缺ノミチ以テ一舉ニ搬送シ得ル兵力約二四〇〇名
運搬ノ兵力ハ約一〇〇〇名及物件ハ家艇等ヲ使用同一時機ニ
通八三二一 呂三△(九二〇五地)二十一通一放 海 電

460

ニ較送スルヲ可トスルヲ認ム 海上機動第二旅團ハカマロニ集結シ
アリ

四廿四十一日中ニ「バチヤン泊地」ニ於テ補給終了ノ豫定。

（電傳誤註「本電其ノ二分ノ一既配布」）

海軍

451

人事

六一一 陸軍 一三四三 陸軍 一五三五 陸軍 〇五三三六 作

陸軍部

第一海上陸軍隊司令部昭陽館(陸軍)北武蔵野行勸進帳所
第一陸軍隊V・二十七陸軍隊・野分

聯合艦隊各FVA(陸軍東方團陸軍)

機密第一〇二〇〇三番電

後助部隊電信令作第三號

一〇〇〇電令作第一二八號ニ依ル海軍部ノ艦隊ヲ第四艦隊附屬部隊

山縣分ニ指定ス

ニ第四艦隊司令官ハ水偵便ニチ「パチヤン」ニ先行セシム

第二艦隊司令官ハ右水偵便ヲ指定スベシ

及第二十七艦隊ハ送ニヨリニ同航スベシ。

第七二〇六 留A (五〇〇六) 櫻ヶ谷

海軍

第10課

第七編

皇派六九・五〇〇バチヤン第十九編陸軍（改定前級）各級二〇
 〇・四〇・バチヤン陸軍（連力一八節）一〇〇〇・六〇〇・六〇
 ウ（十一日着ノ決定）陸軍（連力一二、五節）一〇〇〇・六〇
 〇カウ第一二七編陸軍陸軍（連力一三節）二機・三〇〇カウ
 (a) 陸軍陸軍 連力 待機位置
 第三六編及第三七編陸軍一二節「カウ」第三〇編海軍一八
 節「カウ」十一日着決定
 (b) 補給船名待機位置補給可能量
 第三永洋丸（年陸軍）バチヤン七六〇〇噸（十一日補給後三八
 〇〇噸）
 (c) 大船十隻（船員共）十一日バチヤン着決定ナルモ輸送船ノ搭
 乗員乗客未だ未定ニ大和武蔵ニ搭乗スルモノ一法ト認ム
 (d) 海上機動第二隊團ノ人員約三四〇〇名物件約三〇〇〇立方米

電價照註 本電四分ノ再四ノ既配布

海 軍

464

人事

作

六一一

〇〇九〇〇〇

〇〇九〇〇〇

〇〇五一一八八

本

● 海軍部

● 海軍部

機

機密第一〇三〇三〇番

四〇分ノ三

本機 第十六機隊司令部
機密第一〇三〇三〇番

又

(a) 主要機隊官所在機 (南方軍) マニヤ三一 通信機隊 (第三方面軍)
マニヤ下 南方方面機隊第三機隊通信機隊 (第二軍) マノタワリ
機 (四機軍) 不詳

其末期作戦準備行方々々機上機下要スルモノト認メラルルを機方面

機六九六七・六九七四

呂三A (九二〇三四) 機二機二放

海

軍機

465

人 3

親至親
親至親
親至親

一〇 受信〇九三三四 譯了〇九四〇 電〇五〇七七 人令 軍副

● 南 西 方 面 艦 隊 尸
● 人 軍 局 ・ 第 一 六 戰 隊 尸



機密第一〇二一三〇番電

發 第一南遣艦隊參謀長

南西方面艦隊キテ〇九一一三七關聯

早朝特務艦長 長谷部(サ一四七一)

早朝八八月十日頃修理公試開始ノ見込。

通六八二九 呂四A(四七四五)十通 海 軍

467

六
一三
受領 〇〇九六三〇〇
一〇三〇
電 〇五七五五
特 略

● 聯合艦隊司令部

● 水航空基地

● 第一航空艦隊司令部、第二航空艦隊司令部、第三航空艦隊司令部、第四航空艦隊司令部、第五航空艦隊司令部、第六航空艦隊司令部、第七航空艦隊司令部、第八航空艦隊司令部、第九航空艦隊司令部、第十航空艦隊司令部、第十一航空艦隊司令部、第十二航空艦隊司令部、第十三航空艦隊司令部、第十四航空艦隊司令部、第十五航空艦隊司令部、第十六航空艦隊司令部、第十七航空艦隊司令部、第十八航空艦隊司令部、第十九航空艦隊司令部、第二十航空艦隊司令部、第二十一航空艦隊司令部、第二十二航空艦隊司令部、第二十三航空艦隊司令部、第二十四航空艦隊司令部、第二十五航空艦隊司令部、第二十六航空艦隊司令部、第二十七航空艦隊司令部、第二十八航空艦隊司令部、第二十九航空艦隊司令部、第三十航空艦隊司令部、第三十一航空艦隊司令部、第三十二航空艦隊司令部、第三十三航空艦隊司令部、第三十四航空艦隊司令部、第三十五航空艦隊司令部、第三十六航空艦隊司令部、第三十七航空艦隊司令部、第三十八航空艦隊司令部、第三十九航空艦隊司令部、第四十航空艦隊司令部、第四十一航空艦隊司令部、第四十二航空艦隊司令部、第四十三航空艦隊司令部、第四十四航空艦隊司令部、第四十五航空艦隊司令部、第四十六航空艦隊司令部、第四十七航空艦隊司令部、第四十八航空艦隊司令部、第四十九航空艦隊司令部、第五十航空艦隊司令部、第五十一航空艦隊司令部、第五十二航空艦隊司令部、第五十三航空艦隊司令部、第五十四航空艦隊司令部、第五十五航空艦隊司令部、第五十六航空艦隊司令部、第五十七航空艦隊司令部、第五十八航空艦隊司令部、第五十九航空艦隊司令部、第六十航空艦隊司令部、第六十一航空艦隊司令部、第六十二航空艦隊司令部、第六十三航空艦隊司令部、第六十四航空艦隊司令部、第六十五航空艦隊司令部、第六十六航空艦隊司令部、第六十七航空艦隊司令部、第六十八航空艦隊司令部、第六十九航空艦隊司令部、第七十航空艦隊司令部、第七十一航空艦隊司令部、第七十二航空艦隊司令部、第七十三航空艦隊司令部、第七十四航空艦隊司令部、第七十五航空艦隊司令部、第七十六航空艦隊司令部、第七十七航空艦隊司令部、第七十八航空艦隊司令部、第七十九航空艦隊司令部、第八十航空艦隊司令部、第八十一航空艦隊司令部、第八十二航空艦隊司令部、第八十三航空艦隊司令部、第八十四航空艦隊司令部、第八十五航空艦隊司令部、第八十六航空艦隊司令部、第八十七航空艦隊司令部、第八十八航空艦隊司令部、第八十九航空艦隊司令部、第九十航空艦隊司令部、第九十一航空艦隊司令部、第九十二航空艦隊司令部、第九十三航空艦隊司令部、第九十四航空艦隊司令部、第九十五航空艦隊司令部、第九十六航空艦隊司令部、第九十七航空艦隊司令部、第九十八航空艦隊司令部、第九十九航空艦隊司令部、第一百航空艦隊司令部

機密第一 〇二二〇三番電 二分ノ一

發 一五三部隊指揮官

宛 參謀長

「ピアタ」島航空基地ハ龜首地區航空阻備ノ死活ヲ決スル要點ニシ
テ之ガ失脚ハ唯ニ同阻備ヲ瓦解セシムルニ止マラズ春地區ヲ越テ南
菲ト題ハズ南西ト題ハズ此等存立ヲ立ドコロニ脅威スルニ至ルベシ
「ニユーギネア」北側作戰ニ於テ敵ノ根據的航空阻備ニ對シ我ハ總
的阻備ヲ以テ步步退却ノ已ムナキニ至リタル現在漸ク我ハ不完備乍

通六九四七 留▲(九五四〇)方ニク答

海軍

ラ面的配備ヲ以テ彼ニ對シ得ルニ至リタリ
今ニシテ精銳強力航空部隊ヲ續續注入展開シ且又面的配備。

〔東通註 本電再送ノ爲通延〕

〔電信線註 本電其ノ二分ノ二卷志着〕

第
十
信
課

海
2
軍

459